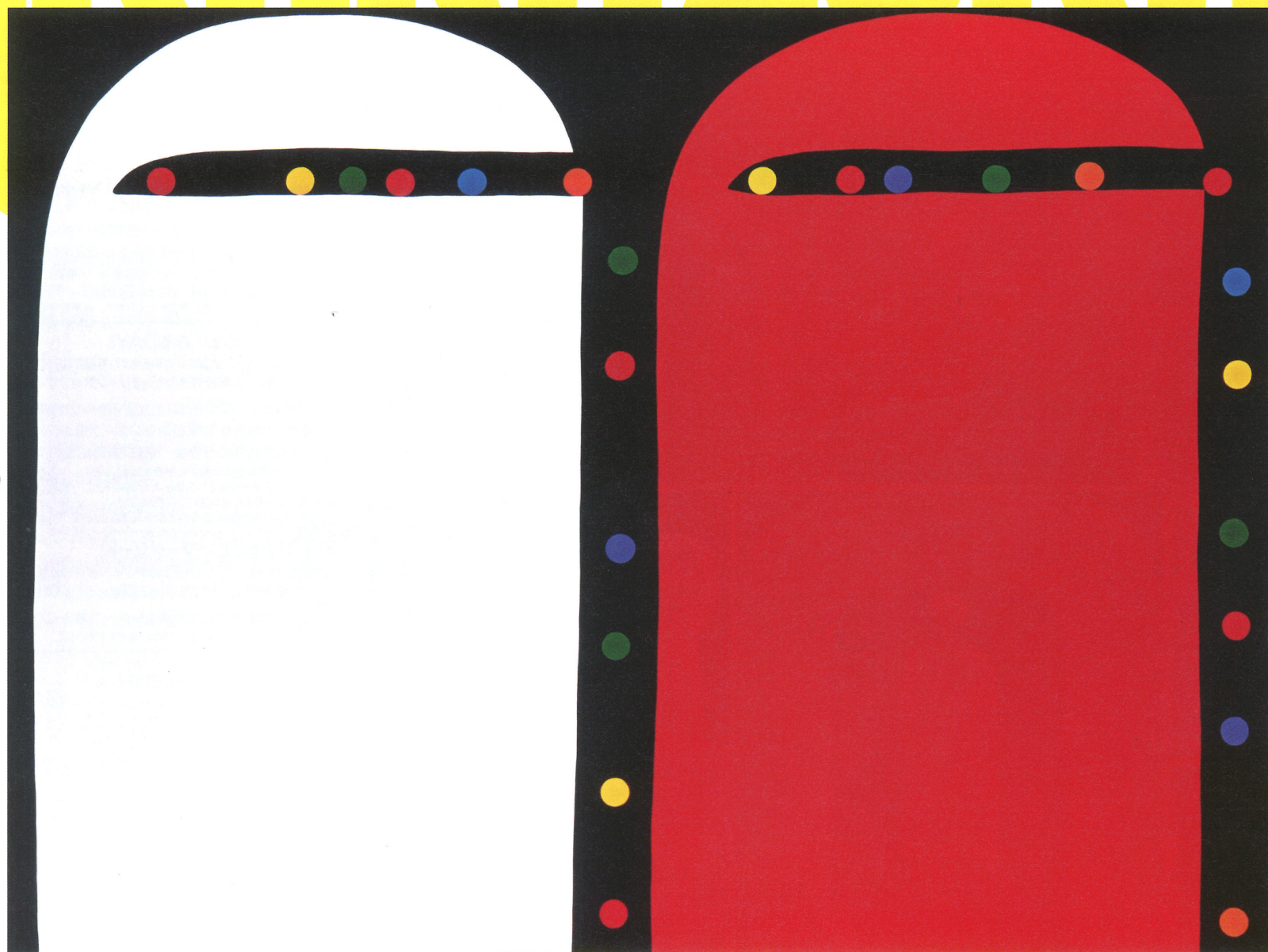


市制70周年記念展

宝塚コレクション——宝塚市所蔵作品展

The Special Exhibition of The TAKARAZUKA Art Collection



元永定正「いろだまよこしらあか」アクリル・キャンバス、194 × 259.1cm、2001年

開館時間＝10時～18時(ただし最終入場は17時30分まで／7月20日(土)のみ13時～) 休館日＝毎週水曜日 会場＝宝塚市立文化芸術センター 2階メインギャラリー 観覧料＝一般(高校生以上)1000円

※中学生以下無料 ※障がい者手帳ご提示でご本人様、付添の方1名まで無料

【割引制度】①広報たからづか7月号のご提示で200円割引 ②市内在住または在勤であることを証明するものご提示で200円割引 ③第15回宝塚学検定の認定証のご提示で200円割引

主催＝宝塚市立文化芸術センター(指定管理者:宝塚みらい創造ファクトリー) 特別協力＝モトナガ資料研究室

協力＝公益財団法人宝塚市文化財団、宝塚市立中央図書館、日本中央競馬会 阪神競馬場、和歌山市立博物館 後援＝神戸新聞社 助成＝公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団

2024年7月20日(土)13時—9月1日(日)

「たからもの」
みんなの
みて！
きて！



TAKARAZUKA

市制70周年記念展

宝塚コレクション——宝塚市所蔵作品展——

The Special Exhibition of The TAKARAZUKA Art Collection



中畑伸人「惨!!」'95—月一七日」油彩・キャンバス、130.3 × 194cm、1995年

2024年7月20日(土)13時—9月1日(日)

「みんなのもの!」

開館時間=10時~18時(ただし最終入場は17時30分まで/7月20日(土)のみ13時~) 休館日=毎週水曜日 会場=宝塚市立文化芸術センター 2階メインギャラリー 観覧料=一般(高校生以上)1000円

※中学生以下無料 ※障がい者手帳ご提示でご本人様、付添の方1名まで無料

【割引制度】①広報たからづか7月号のご提示で200円割引 ②市内在住または在勤であることを証明するものご提示で200円割引 ③第15回宝塚学検定の認定証のご提示で200円割引

主催=宝塚市立文化芸術センター(指定管理者:宝塚みらい創造ファクトリー) 特別協力=モトナガ資料研究室

協力=公益財団法人宝塚市文化財団、宝塚市立中央図書館、日本中央競馬会 阪神競馬場、和歌山市立博物館 後援=神戸新聞社 助成=公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団



Takarazuka Arts Center

市制70周年記念展

宝塚コレクション—宝塚市所蔵作品展—

The Special Exhibition of The TAKARAZUKA Art Collection

1954年4月1日に誕生した宝塚市。今年、市制施行から70年を迎えたことを記念し、宝塚市が所蔵する美術作品を紹介する展覧会「市制70周年記念展 宝塚コレクション—宝塚市所蔵作品展—」を開催いたします。本展に登場する作品は、元永定正(1922~2011)や中畑艸人(1912~1999)といった、宝塚市に暮らし、活動した作家の手によるものです。これらの美術作品はご遺族等から寄贈を受け、宝塚市の所蔵品として保存されてきましたが、これまでまとまって展示することが叶いませんでした。本展は市民の宝でもある所蔵品、なかでも美術作品を一挙に紹介することで、宝塚市の持つ文化的財産とその魅力を見つめ直し、次世代に繋ぐ場となることを期待するものです。

また本展では、宝塚市内の文化財の公開活動、宝塚学検定、パブリックアートといった「市民と文化が繋がる場所」を併せて紹介します。市民の「たからもの」でもある美術作品と、市の歴史や文化に触れる取り組みを交えながら、宝塚が育んできた文化とその展望をご覧ください。

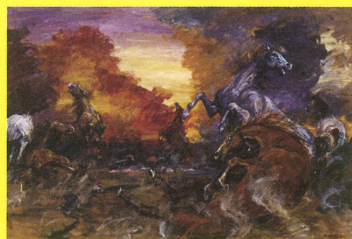
中畑艸人(1912~1999)

NAKAHATA Sojin

洋画家。和歌山県出身。上京後、洋画家・碓伊之助に師事し、水彩画から油彩画に転向して活躍した。

戦後は関西を拠点にして活動を再開。1950年代より馬を主題とした作品を中心に制作し、駿馬を描く「馬の画伯」として知られている。また、イタリア、スペインなどへの渡欧で画技を磨いた。1973年に宝塚市に制作拠点を移して活動が続けたが、1995年の阪神・淡路大震災で被災。その時の体験をもとに大作「惨!! '95一月一七日」を発表した。

中畑艸人「惨!! '95一月一七日」油彩・キャンバス、130.3 × 194cm、1995年



！注目の作品

「惨!! '95一月一七日」油彩・キャンバス、1995年
阪神・淡路大震災をきっかけに描かれた作品。中畑自身も宝塚市内で被災し、その際に感じた恐怖感や絶望感を馬の姿に託しています。迫力と躍動感あふれる馬の姿にも注目です。

元永定正(1922~2011)

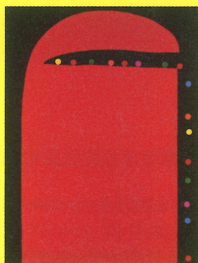
MOTONAGA Sadamasa

現代美術家。三重県出身。1955年に具体美術協会に参加、同会の中心的存在として活躍した(1971年退会)。1955年、宝塚市逆瀬川に転居し1年ほどを過ごす。その後1960年には本格的に宝塚市に居を移して制作を続けた。発表された作品は国内外で高く評価され、1988年にフランス政府から芸術文化勲章シュヴァリエ章を、1991年には紫綬褒章を受章。1993年には第45回ヴェネツィア・ビエンナーレ企画展示「東方への道」に具体美術協会のメンバーとして参加した。宝塚では市の文化振興に尽力し、2001年からは宝塚市大使も務めた。

！注目の作品

インスタレーション作品〈「いろだま」シリーズ〉
元永の代表作のひとつ、「いろだま」。ころころと転がる愛らしい姿は絵本「ころころころ」(1984年、福音館書店)などでも親しまれています。絵画に描かれたカラフルな「いろだま」が、画面を飛び出して広がることで、心躍るような空間が広がります。

元永定正「いろだまたてあか」
アクリル・キャンバス、259.1 × 194cm、2001年



中畑艸人「グビオの聖金曜日」油彩・キャンバス、97 × 130.3cm、1967年

元永定正の〈「いろだま」シリーズ〉や 立体作品を10年ぶりに展示

絵画と無数の「いろだま」によるインスタレーション作品や立体作品を
宝塚市内では10年ぶりに展示します！



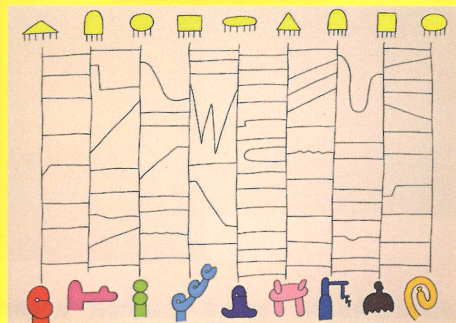
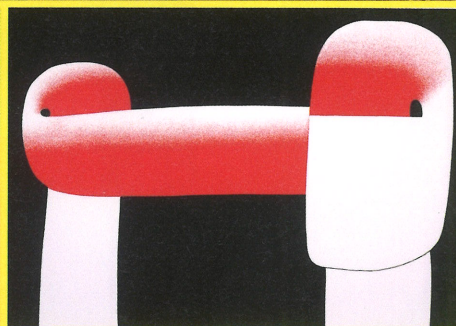
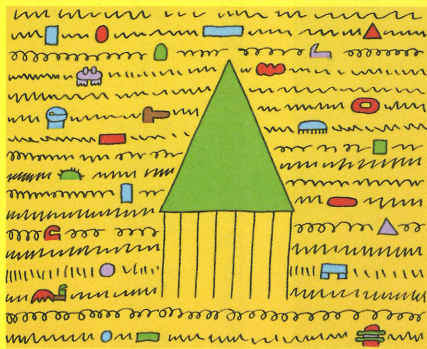
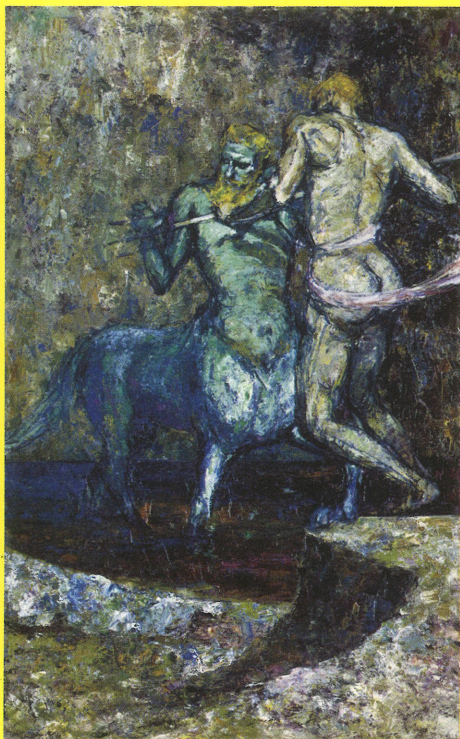
元永定正・中辻悦子 共作「ななころびやおき(2)」
FRP・ウレタン塗装、直径50 × 高さ125cm、2009年



元永定正・中辻悦子 共作「ななころびやおき(3)」
FRP・ウレタン塗装、38 × 97 × 高さ131.5cm、2009年

宝塚市が所蔵する 絵画コレクション

が 集 ま る 貴 重 な 機 会
阪神・淡路大震災をテーマに制作された中畑艸人の傑作「惨!! '95一月一七日」や、
元永定正の立体作品「インスタレーション作品」は必見！



1	2	3
4		
5	7	8
6		9

1. 中畑伸人「青夜（『現代の神話』三部作）」油彩・キャンバス、116.7 × 72.7cm、1963年 2. 中畑伸人「落暈（『現代の神話』三部作）」油彩・キャンバス、116.7 × 72.7cm、1963年 3. 中畑伸人「神旗争い（相馬野馬追）」油彩・キャンバス、112 × 162cm、1961年
4. 中畑伸人「僧院の庭（スペイン）」油彩・キャンバス、97 × 130.3cm、1967年 5. 元永定正「さんかくとがたたち」シルクスクリン、22 × 27cm、2010年 6. 元永定正「みつつのかたち」シルクスクリン、33 × 47cm、1979年
7. 元永定正「くろにあかのしろ」シルクスクリン、55 × 45cm、1983年 8. 元永定正「あかしろくろ」シルクスクリン、33 × 47cm、1979年 9. 元永定正「あみだ」シルクスクリン、46 × 64.5cm、1988年

関連事業

パートナーズサロン「宝塚の地が育ててきた文化」

宝塚を中心に各界で活動する3人が、アーティスト／アートに携わる市民／研究者といったそれぞれの視点から、宝塚に息づく文化とその未来について語り合います。市制70周年を迎えたいま、過去から未来へと繋ぐ「宝塚の文化の力」を一緒に思い描いてみませんか？

開催日時：2024年8月3日（土）14時～15時30分

開催場所：宝塚市立文化芸術センター 1階キューブホール 定員：40名

登壇者：中辻 悦子（美術家） 秋山 文子（革工芸作家・公益財団法人宝塚市文化財団 理事長）
谷口 義子（神戸学院大学非常勤講師、宝塚学検定委員）

司会進行：加藤 義夫（宝塚市立文化芸術センター 館長）

※参加には2024年度パートナーカードのご提示が必要です（当日入会可、年会費2,500円）。

※事前申込制（公式Webサイトの専用フォームにて、7月5日（金）10時より受付開始）

キュレーターズトーク

展示会場内で宝塚市の所蔵作品について解説を行います。
どんな経緯でこれらの作品が所蔵されたのか？ 作品の解説とともにご紹介します。

開催日時：2024年8月17日（土）①11時～ ②14時～（各回約30分）

開催場所：宝塚市立文化芸術センター 2階メインギャラリー内

解説者：西岡 美加（宝塚市文化政策課 学芸員）

※参加には当日の展示会入場券、または2024年度パートナーカードが必要です。

※展示会入場券はどなたでもご参加いただけます。※事前申込不要

わくわく！ いっしょにみるDAY！

キュレーターと一緒に宝塚の「たからもの」を探しに行こう！
お子様を対象とした解説付きのギャラリーツアーです。

開催日時：2024年7月27日（土）①14時～②15時～ / 28日（日）①14時～（各回約20分）

開催場所：宝塚市立文化芸術センター 2階メインギャラリー内

対象：小学生以下のお客さま 定員：各回15名

※参加無料 ※展示会場受付で参加券をお渡しします。

※未就学のお子様に参加される場合は、付添の方も一緒にご参加ください。

※未就学のお子様とは手を繋いでご参加ください。

※高校生以上のお客さまは、当日の展示会入場券または2024年度パートナーカードが必要です。

わくわく！ しゅくだいワークシート！

作品解説や作品をじっくりみるためのクイズが付いた特別なワークシートを、会期中、会場内で配布します。宝塚市の「たからもの」について詳しくなれる！夏休みの宿題にもぴったりのワークシートです。

配布場所：宝塚市立文化芸術センター 2階メインギャラリー内

※数に限りがありますので、お渡しできない場合もございます。



宝塚学検定に挑戦しよう！

第16回宝塚学検定（2025年3月20日（木・祝）実施）の加点対象企画があります。

宝塚市立文化芸術センター

〒665-0844 兵庫県宝塚市武庫川町7-64 TEL 0797-62-6800

FAX 0797-62-6880 <https://takarazuka-arts-center.jp/>

